



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月4日
上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社
 コード番号 4536 URL <https://www.santen.com/ja/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 谷内 樹生
 問合せ先責任者(役職名) IR室 室長 (氏名) 佐久間 ギヨム TEL 06-7664-8621
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

IFRS (フル) ベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	65,533	0.8	8,333	△9.0	9,074	△1.1	6,695	△8.6	6,663	△9.2	19,479	105.2
2022年3月期第1四半期	64,986	12.9	9,156	14.2	9,171	9.7	7,326	19.6	7,342	18.6	9,494	8.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	16.79	16.77
2022年3月期第1四半期	18.36	18.34

コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	65,533	0.8	10,600	△9.5	7,744	△14.2	7,762	△14.1	19.55	19.54
2022年3月期第1四半期	64,986	12.9	11,713	0.5	9,026	2.5	9,036	1.8	22.60	22.56

(注) 2022年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期第1四半期の連結経営成績(累計)を遡及修正しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	461,284	342,908	343,556	74.5	874.27
2022年3月期	459,976	336,844	337,488	73.4	843.60

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

IFRS (フル) ベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	264,000	△0.8	34,200	△4.7	32,500	△8.7	24,400	△10.3	61.96

コアベース

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	264,000	△0.8	45,500	△1.8	34,100	△3.1	86.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

- IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (P6参照)」をご覧ください。
- 2022年5月10日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2023年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」及び「基本的1株当たりコア当期利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	400,708,354株	2022年3月期	400,694,754株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	7,529,273株	2022年3月期	423,668株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	396,746,025株	2022年3月期1Q	399,633,324株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2022年3月期 16,271株、2023年3月期1Q 16,271株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年8月4日（木）に証券アナリスト、機関投資家向けの第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	9
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(重要な後発事象)	15
3. 連結参考資料	16
(1) 主要製品売上収益	16
(2) 開発状況	17
(3) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費	19
(4) 主要通貨為替レート	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第1四半期連結累計期間の業績の状況

(ア) IFRS（フル）ベース

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	64,986	65,533	0.8%
営業利益	9,156	8,333	△9.0%
四半期利益	7,326	6,695	△8.6%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	7,342	6,663	△9.2%

(注) 前連結会計年度において、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書を遡及修正しています。

[売上収益]

前年同期と比べ0.8%増加し、655億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、中国で新型コロナウイルス対策による厳格な防疫措置等の影響を強く受けたものの、日本では薬価改定の影響を最小限に留め、アジア・EMEAでは主力製品が堅調に推移したこと等により、前年同期と比べ0.2%増加し、611億円となりました。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率、()は為替影響を除いた対前年同期増減率

(単位：百万円)

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	38,839	3,590	5,462	12,424	790	61,105
	△0.3%	△44.3%	22.7%	20.0%	△1.7%	0.2%
	(-%)	(△51.6%)	(14.3%)	(15.0%)	(△13.2%)	(△2.2%)
一般用医薬品	2,141	31	207	-	-	2,379
	△7.1%	-	48.5%	-	-	△2.7%
医療機器	890	3	-	638	92	1,624
	28.2%	-	-	80.7%	△4.8%	41.8%
その他	408	6	12	-	-	425
	10.6%	△48.0%	29.9%	-	-	9.3%
合計	42,279	3,630	5,680	13,062	882	65,533
	△0.1%	△43.8%	23.5%	22.0%	△2.1%	0.8%

(注) 外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国又は地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、欧州、中東及びアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

主力品アレジオン点眼液の拡大再算定を含む薬価改定の影響を最小限に留め、前年同期と比べ0.3%減少し、388億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	23億円	（対前年同期増減率	△ 0.3%）
「タプコム配合点眼液」	8億円	（対前年同期増減率	+ 5.0%）
「コソプト配合点眼液」	14億円	（対前年同期増減率	△ 9.0%）
「エイベリス点眼液」	11億円	（対前年同期増減率	+ 33.5%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	39億円	（対前年同期増減率	+ 13.9%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液 ^{※1} （P5参照）」	48億円	（対前年同期増減率	△ 4.8%）
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液 ^{※2} （P5参照）」	182億円	（対前年同期増減率	△ 2.7%）

◇中国

新型コロナウイルス対策の厳格な防疫措置等の影響を受け、円換算ベースで前年同期と比べ44.3%減少し（為替影響を除いた成長率は△51.6%）、36億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	1億円	（対前年同期増減率	△ 52.4%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	7億円	（対前年同期増減率	△ 4.5%）
「ヒアレイン点眼液」	9億円	（対前年同期増減率	△ 59.2%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	7億円	（対前年同期増減率	△ 58.5%）

◇アジア（中国除く）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、普及促進基盤の拡大により、円換算ベースで前年同期と比べ22.7%増加し（為替影響を除いた成長率は+14.3%）、55億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	5億円	（対前年同期増減率	+ 5.2%）
「タプコム配合点眼液」	2億円	（対前年同期増減率	+ 38.9%）
「コソプト配合点眼液」	15億円	（対前年同期増減率	+ 17.7%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	5億円	（対前年同期増減率	+ 20.5%）
「Ikervis（アイケルビス）」	4億円	（対前年同期増減率	+ 45.3%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	5億円	（対前年同期増減率	△ 5.7%）

◇EMEA

新型コロナウイルス感染症やロシア・ウクライナ紛争の影響を受けたものの、円換算ベースで前年同期と比べ20.0%増加し（為替影響を除いた成長率は+15.0%）、124億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	20億円	（対前年同期増減率	+ 20.2%）
「タプコム配合点眼液」	11億円	（対前年同期増減率	+ 32.7%）
「コソプト配合点眼液」	31億円	（対前年同期増減率	+ 19.7%）
「トルソプト点眼液」	9億円	（対前年同期増減率	+ 11.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis（アイケルビス）」	15億円	（対前年同期増減率	+ 3.6%）
「Cationorm（カチオノーム）」	7億円	（対前年同期増減率	+ 32.9%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「Verkazia（ベルカジア）」	2億円	（対前年同期増減率	+ 1.7%）

◇米州

円換算ベースで前年同期と比べ1.7%減少し（為替影響を除いた成長率は△13.2%）、8億円となりました。

<一般用医薬品>

前年同期と比べ2.7%減少し、24億円となりました。

「サンテメディカルシリーズ」「サンテボーティエシリーズ」「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に加え、スイッチOTC製品「ヒアレインS」、「サンテFXシリーズ」、前連結会計年度に販売を開始した点眼型洗眼薬「ウェルウォッシュアイ」に注力しています。

<医療機器>

プリザーフロ マイクロシヤントのEMEAでの販売を本格化し、前年同期と比べ41.8%増加し、16億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

「レンティス コンフォート」	3億円	（対前年同期増減率	△ 2.9%）
「プリザーフロ マイクロシヤント」	6億円	（対前年同期増減率	+ 80.6%）

<その他>

その他の売上収益は4億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ2.5%減少し、371億円となりました。

IFRS（フル）ベースの販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ5.0%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△9.9%）、194億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ16.0%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+8.0%）、71億円となりました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ5.5%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+0.1%）、26億円となりました。これは主に、Merck & Co., Inc.（米国）から2014年に譲り受けた眼科製品に関する無形資産、2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」に関する無形資産、2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したプリザーフロ マイクロシヤントに関する無形資産（2019年4月より償却開始）、並びに2020年のEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）買収に伴い取得した眼科製品に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、3億円となりました。

その他の費用は、0.5億円となりました。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は、前年同期と比べ9.0%減少し、83億円となりました。

[四半期利益]

金融収益は、14億円となりました。

金融費用は、1億円となりました。

持分法による投資損失は、5億円となりました。これは主にVerily Life Sciences LLC（米国）との合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC（米国）の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、前年同期から5億円増加し、24億円となりました。

これらにより、四半期利益は、前年同期と比べ8.6%減少し、67億円となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期と比べ9.2%減少し、67億円となりました。売上収益に対するその比率は、10.2%となりました。

※1 アレジオンLX点眼液を含みます。

※2 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

（イ）コアベース ※3

（単位：百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前年同期増減率
売上収益	64,986	65,533	0.8%
コア営業利益	11,713	10,600	△9.5%
コア四半期利益	9,026	7,744	△14.2%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	9,036	7,762	△14.1%

[売上収益]

IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

[コア営業利益]

売上総利益について、IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ4.0%減少し、194億円となりました。なお、IFRS（フル）ベースからの調整内容として、前第1四半期では企業結合における統合業務等に係る費用を販売費及び一般管理費から控除していましたが、当第1四半期では該当事項はありません。

研究開発費は、IFRS（フル）ベースからの調整はありません。

以上により、コアベースでの営業利益は、前年同期と比べ9.5%減少し、106億円となりました。

※3 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を事業活動自体の収益性を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

- ・製品に係る無形資産償却費
- ・その他の収益
- ・その他の費用
- ・金融収益
- ・金融費用
- ・持分法による投資損益
- ・販売費及び一般管理費のうち企業買収などに係る費用

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF₂α誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2019年1月から第Ⅲ相試験を実施しています。

EP2受容体作動薬STN1011700（DE-117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、米国で2022年5月に販売承認を再申請しました。日本では2018年11月に発売しました。アジアでは2021年2月の韓国以降、複数国で順次発売しています。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：sepetaprost）は、米国で2021年12月に追加の第Ⅱ相試験を終了しました。日本では後期第Ⅱ相試験を完了しています。欧州では2021年9月に第Ⅱ相試験（探索的試験）を開始しました。

緑内障用デバイスSTN2000100（DE-128）は、日本で2022年7月に発売（ソフトローンチ）しました。欧州では2019年4月に発売しました。アジアでは2020年3月以降順次販売承認を申請しており、2021年9月以降シンガポールなどで承認を取得しました。

プロスタグランジンF₂α誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、2022年3月に欧州及びアジアで第Ⅲ相試験を終了しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：netarsudil mesylate）は、日本で2020年11月から第Ⅲ相試験を実施しています。欧州では販売承認を取得済みです。アジアでは2022年3月に販売承認を申請しました。

ROCK阻害剤及びプロスタグランジンF₂α誘導体の配合剤STN1014000（PG-324、一般名：netarsudil mesylate／ラタノプロスト）は、欧州で販売承認を取得済みです。アジアでは2022年5月に販売承認を申請しました。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、欧州、アジア、カナダなど既に承認・販売されている諸国に続き、中国で2022年4月に販売承認を取得しました。米国では2022年5月に発売しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2022年6月に製造販売承認を取得しました。

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2021年10月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。

アレルギー性結膜炎を対象とするSTN1011402（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、日本で2022年2月に第Ⅲ相試験を開始しました。

フックス角膜内皮ジストロフィを対象としてアクチュアライズ株式会社と共同開発契約を締結しているSTN1010904*（一般名：シロリムス）は、2022年5月に、米国、フランス、インドでの前期第Ⅱ相試験を開始しました。（*開発コード（STN1010904）は、第Ⅱ相試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

<屈折異常領域>

小児における近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2019年8月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。中国では2022年6月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を開始しました。アジアでは2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。

小児における近視を対象とするSTN1012701（SYD-101、一般名：アトロピン硫酸塩）は、導入元であるSydnexis Inc.（米国）により欧州及び米国で第Ⅲ相試験が実施されています。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有しています。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2021年9月に第Ⅰ相試験を終了しました。

老視を対象とするSTN1013600（一般名：ウルソデオキシコール酸）は、日本で2022年4月に第Ⅰ相試験を終了しました。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324及びPG-324はAerie Pharmaceuticals, Inc.（米国）、SYD-101はSydnexis Inc.（米国）での開発コードです。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第1四半期末の資産は、4,613億円となりました。配当金の支払、自己株式の取得、並びに法人所得税等の支払による現金及び現金同等物の減少などがあった一方、滋賀プロダクトサプライセンター敷地内における医療用点眼薬製造のための第3棟の増設に伴う有形固定資産の増加及び為替の円安影響による無形資産の増加などにより前期末と比べ13億円増加しました。

資本は、3,429億円となりました。自己株式の取得があった一方、その他の資本の構成要素の増加などにより前期末と比べ61億円増加しました。

負債は、1,184億円となりました。繰延税金負債の増加などがあった一方、法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少及び賞与の支払によるその他の流動負債の減少などにより前期末と比べ48億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ1.1ポイント増加し、74.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、24億円の収入（前年同期は25億円の収入）となりました。主に四半期利益67億円、未払賞与の減少51億円、法人所得税の支払額32億円、減価償却費及び償却費45億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、62億円の支出（前年同期は49億円の支出）となりました。主に有形固定資産の取得による支出32億円及び無形資産の取得による支出30億円によるものです。また政策保有株式の見直しを加速しており、当第1四半期は1銘柄の投資の売却による収入が5億円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、138億円の支出（前年同期は62億円の支出）となりました。主に自己株式の取得による支出72億円及び配当金の支払額63億円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前期末と比べ144億円減少し、686億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね予定通り推移しており、2022年5月10日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	64,986	65,533
売上原価	△26,924	△28,406
売上総利益	38,062	37,127
販売費及び一般管理費	△20,447	△19,427
研究開発費	△6,121	△7,099
製品に係る無形資産償却費	△2,421	△2,554
その他の収益	120	332
その他の費用	△39	△45
営業利益	9,156	8,333
金融収益	590	1,385
金融費用	△277	△123
持分法による投資損失	△297	△521
税引前四半期利益	9,171	9,074
法人所得税費用	△1,845	△2,379
四半期利益	7,326	6,695
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	1,290	1,101
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	886	10,846
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△8	837
その他の包括利益	2,167	12,784
四半期包括利益合計	9,494	19,479
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	7,342	6,663
非支配持分	△15	32
四半期利益	7,326	6,695
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	9,520	19,483
非支配持分	△26	△4
四半期包括利益合計	9,494	19,479
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	18.36	16.79
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	18.34	16.77
<コアベース>		
売上収益	64,986	65,533
コア営業利益	11,713	10,600
コア四半期利益	9,026	7,744
基本的1株当たりコア四半期利益（円）	22.60	19.55
希薄化後1株当たりコア四半期利益（円）	22.56	19.54
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	9,036	7,762
非支配持分	△10	△18
コア四半期利益	9,026	7,744

(注) 前連結会計年度において、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書を遡及修正しています。

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	56,287	61,185
無形資産	130,217	134,914
金融資産	28,673	30,623
退職給付に係る資産	3,011	2,836
持分法で会計処理されている投資	7,565	7,930
繰延税金資産	3,103	3,327
その他の非流動資産	1,695	1,790
非流動資産合計	230,551	242,605
流動資産		
棚卸資産	37,141	39,548
営業債権及びその他の債権	99,591	99,690
その他の金融資産	1,293	956
その他の流動資産	8,387	9,909
現金及び現金同等物	83,014	68,575
流動資産合計	229,426	218,679
資産合計	459,976	461,284

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,672	8,678
資本剰余金	9,370	9,556
自己株式	△718	△7,916
利益剰余金	290,477	290,975
その他の資本の構成要素	29,688	42,264
親会社の所有者に帰属する持分合計	337,488	343,556
非支配持分	△645	△648
資本合計	336,844	342,908
負債		
非流動負債		
金融負債	22,023	22,303
退職給付に係る負債	1,077	1,149
引当金	738	747
繰延税金負債	2,526	5,107
その他の非流動負債	948	985
非流動負債合計	27,312	30,291
流動負債		
営業債務及びその他の債務	41,185	40,128
その他の金融負債	38,533	38,784
未払法人所得税等	4,198	1,702
引当金	939	1,126
その他の流動負債	10,965	6,345
流動負債合計	95,821	88,085
負債合計	123,133	118,376
資本及び負債合計	459,976	461,284

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2021年4月1日残高	8,525	8,954	△934	273,238	—	11,075
四半期包括利益						
四半期利益				7,342		
その他の包括利益						1,290
四半期包括利益合計	—	—	—	7,342	—	1,290
所有者との取引額						
自己株式の取得			△0			
配当金				△5,598		
株式報酬取引		38				
その他				182		△182
所有者との取引額合計	—	38	△0	△5,416	—	△182
2021年6月30日残高	8,525	8,992	△934	275,164	—	12,183

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2021年4月1日残高	8,634	170	518	20,398	310,181	△535	309,646
四半期包括利益							
四半期利益				—	7,342	△15	7,326
その他の包括利益	897	△8		2,178	2,178	△11	2,167
四半期包括利益合計	897	△8	—	2,178	9,520	△26	9,494
所有者との取引額							
自己株式の取得				—	△0		△0
配当金				—	△5,598		△5,598
株式報酬取引				—	38		38
その他				△182	—		—
所有者との取引額合計	—	—	—	△182	△5,560	—	△5,560
2021年6月30日残高	9,531	162	518	22,394	314,141	△561	313,580

（注）前連結会計年度において、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結持分変動計算書を遡及修正しています。

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2022年4月1日残高	8,672	9,370	△718	290,477	—	8,438
四半期包括利益						
四半期利益				6,663		
その他の包括利益						1,101
四半期包括利益合計	—	—	—	6,663	—	1,101
所有者との取引額						
新株の発行	6	6				
自己株式の取得		△8	△7,197			
配当金				△6,405		
株式報酬取引		187				
その他				240		△240
所有者との取引額合計	6	186	△7,197	△6,165	—	△240
2022年6月30日残高	8,678	9,556	△7,916	290,975	—	9,300

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2022年4月1日残高	19,950	914	384	29,688	337,488	△645	336,844
四半期包括利益							
四半期利益				—	6,663	32	6,695
その他の包括利益	10,882	837		12,820	12,820	△36	12,784
四半期包括利益合計	10,882	837	—	12,820	19,483	△4	19,479
所有者との取引額							
新株の発行			△5	△5	7		7
自己株式の取得				—	△7,205		△7,205
配当金				—	△6,405		△6,405
株式報酬取引				—	187		187
その他				△240	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△5	△244	△13,415	—	△13,415
2022年6月30日残高	30,833	1,751	380	42,264	343,556	△648	342,908

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	7,326	6,695
減価償却費及び償却費	4,195	4,469
持分法による投資損益 (△は益)	297	521
金融収益及び金融費用 (△は益)	△273	△201
法人所得税費用	1,845	2,379
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	2,133	1,925
棚卸資産の増減 (△は増加)	1,242	△744
営業債務及びその他の債務の増減 (△は減少)	△4,662	△1,486
引当金及び退職給付に係る負債の増減 (△は減少)	368	314
その他の流動資産の増減 (△は増加)	△1,764	△1,408
未払賞与の増減 (△は減少)	△3,746	△5,102
その他	△570	△1,921
小計	6,391	5,442
利息の受取額	48	59
配当金の受取額	248	226
利息の支払額	△52	△93
法人所得税の支払額	△4,094	△3,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,540	2,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△523	△304
投資の売却による収入	383	467
有形固定資産の取得による支出	△2,126	△3,202
無形資産の取得による支出	△2,614	△3,047
持分法で会計処理される投資の取得による支出	—	△47
その他	△2	△94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,882	△6,226
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△7,197
配当金の支払額	△5,512	△6,320
リース負債の返済による支出	△661	△801
その他	△0	547
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,173	△13,772
現金及び現金同等物の増減額	△8,515	△17,579
現金及び現金同等物の期首残高	62,888	83,014
現金及び現金同等物の為替変動による影響	326	3,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,699	68,575

(注) 前連結会計年度において、Eyevance Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国) の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間の要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書を遡及修正しています。

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（自己株式の取得）

当社は、2022年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2022年5月11日から2022年6月30日までに7,105,500株を総額7,197百万円で取得しています。

（1）自己株式の取得を行う理由

利益還元の強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

（2）取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得し得る株式の総数 | 12,500,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.1%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 150億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 2022年5月11日～2022年9月30日 |
| ⑤ 取得方法 | 投資一任契約に基づく市場買付け |
| ⑥ その他 | 本件により取得した自己株式については、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により、当連結会計年度に消却する予定です。 |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名	地域	2022年3月期				2023年3月期			
		第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第1四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
緑内障・高眼圧症治療剤領域									
コソプト配合点眼液	合計	5,437	△3.1%	21,752	4.2%	6,030	10.9%	21,523	△1.1%
	日本	1,576	△22.8%	5,650	△18.6%	1,434	△9.0%	4,898	△13.3%
	アジア	1,240	18.2%	5,157	15.6%	1,460	17.7%	5,630	9.2%
	EMEA	2,621	4.1%	10,945	15.5%	3,137	19.7%	10,995	0.5%
タプロス点眼液	合計	4,683	0.2%	18,423	2.8%	4,895	4.5%	19,705	7.0%
	日本	2,281	△3.9%	8,409	△3.4%	2,275	△0.3%	7,847	△6.7%
	中国	266	134.2%	1,170	94.3%	126	△52.4%	2,740	134.1%
	アジア	490	6.2%	2,077	8.9%	516	5.2%	2,051	△1.2%
タプロコム配合点眼液	合計	1,747	14.3%	6,971	15.5%	2,129	21.8%	7,577	8.7%
	日本	724	5.7%	2,738	5.1%	760	5.0%	2,628	△4.0%
	アジア	173	42.4%	815	49.3%	240	38.9%	964	18.3%
	EMEA	850	17.8%	3,417	18.4%	1,129	32.7%	3,985	16.6%
トルソプト点眼液	合計	1,169	8.1%	4,374	0.2%	1,251	7.0%	4,224	△3.4%
	日本	310	△11.7%	1,108	△9.7%	294	△4.9%	965	△13.0%
	アジア	92	37.5%	382	10.9%	98	7.0%	413	8.0%
	EMEA	768	15.6%	2,883	3.2%	859	11.8%	2,847	△1.3%
エイベリス点眼液	合計	823	39.6%	3,420	34.8%	1,123	36.5%	4,030	17.9%
	日本	806	36.8%	3,304	31.3%	1,076	33.5%	3,648	10.4%
アジア	17	—	116	475.4%	47	178.0%	332	187.4%	
角結膜疾患治療剤領域									
ジクアス点眼液	合計	4,537	27.8%	18,835	30.8%	5,069	11.7%	24,422	29.7%
	日本	3,402	13.0%	13,342	8.6%	3,876	13.9%	15,157	13.6%
	中国	697	886.0%	4,074	468.5%	666	△4.5%	6,964	70.9%
	アジア	438	△6.5%	1,419	1.1%	527	20.5%	2,301	62.1%
ヒアレイ点眼液	合計	4,251	△6.0%	17,779	△3.5%	3,303	△22.3%	17,235	△3.1%
	日本	1,721	△5.2%	6,466	△7.2%	1,636	△4.9%	5,115	△20.9%
	中国	2,145	△8.7%	8,943	△3.4%	875	△59.2%	9,344	4.5%
	アジア	386	7.6%	2,370	8.0%	793	105.5%	2,776	17.1%
Ikervis (アイケルビス)	合計	1,656	76.3%	5,856	29.3%	1,817	9.8%	6,667	13.9%
	アジア	246	28.5%	1,106	24.2%	357	45.3%	1,506	36.2%
	EMEA	1,410	88.5%	4,750	30.6%	1,460	3.6%	5,161	8.7%
Cationorm (カチオノーム)	合計	829	23.4%	3,230	5.5%	1,099	32.6%	3,785	17.2%
	アジア	103	45.7%	467	82.5%	121	17.2%	406	△13.0%
	EMEA	532	21.3%	2,078	5.6%	707	32.9%	2,458	18.3%
米州	194	19.2%	685	△18.3%	271	39.8%	920	34.4%	
抗アレルギー点眼剤領域									
アレジオン点眼液 (アレジオンLX点眼液を含む)	合計	5,065	66.2%	29,392	△10.3%	4,846	△4.3%	24,074	△18.1%
	日本	5,038	65.3%	29,286	△10.5%	4,798	△4.8%	23,821	△18.7%
	アジア	28	—	106	465.8%	48	75.5%	253	138.1%
Verkazia (ベルカジア)	合計	164	744.5%	633	255.2%	213	29.7%	1,588	150.7%
	EMEA	155	830.9%	585	260.6%	157	1.7%	743	27.1%
	米州	10	237.0%	49	201.0%	56	483.8%	792	—
網膜疾患治療剤領域									
アイリーア硝子体内注射液	合計	18,727	11.5%	72,484	12.5%	18,230	△2.7%	61,896	△14.6%
	日本	18,727	11.5%	72,484	12.5%	18,230	△2.7%	61,896	△14.6%
眼感染症治療剤領域									
クラビット点眼液	合計	3,063	△6.9%	11,712	△7.4%	1,926	△37.1%	11,852	1.2%
	日本	488	△6.4%	1,754	△11.0%	378	△22.6%	1,489	△15.1%
	中国	1,754	△19.7%	6,966	△12.1%	727	△58.5%	7,195	3.3%
	アジア	505	30.6%	1,866	8.3%	476	△5.7%	2,056	10.2%
	EMEA	316	60.3%	1,126	9.4%	345	9.3%	1,112	△1.2%
医療機器									
レンティス コンフォート	合計	341	58.8%	1,422	18.9%	331	△2.9%	1,742	22.5%
	日本	341	58.8%	1,422	18.9%	331	△2.9%	1,742	22.5%
プリザーフロ マイクロシヤント	合計	347	99.5%	1,612	80.9%	627	80.6%	2,398	48.7%
	EMEA	347	99.5%	1,612	80.9%	627	80.6%	2,364	46.6%
一般用医薬品	合計	2,444	19.7%	9,780	3.9%	2,379	△2.7%	10,650	8.9%
	日本	2,305	16.7%	9,185	1.4%	2,141	△7.1%	9,400	2.3%
	中国	—	—	7	—	31	—	650	—
	アジア	139	106.3%	588	67.1%	207	48.5%	600	2.1%

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（2）開発状況

2022年7月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	米国						2022年5月
				中国						
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオン性製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。カナダで、2019年11月に発売。米国で、2022年5月に発売。中国で、2022年4月に販売承認を取得。										
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本						2022年6月
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2022年6月に製造販売承認を取得。										
シロリムス	STN1010904	フックス角膜内皮ジストロフィ	アクチュアライズと共同開発	米国 フランス インド		(フェーズ2a)				
mTOR阻害作用によりフックス角膜内皮ジストロフィの症状を改善する懸濁点眼剤。2022年5月に米国、フランス、インドでのフェーズ2a試験を開始。（※開発コード（STN1010904）は、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）										
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺機能不全	自社	日本		(フェーズ2a)				
mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2021年10月にフェーズ2a試験を開始。										
タフルプロスト / チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月からフェーズ3試験を実施中。										
エピナスチン塩酸塩	STN1011402	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本						
H ₁ 拮抗作用と膜安定化作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。眼科用クリーム製剤。日本で、2022年2月にフェーズ3試験を開始。										
オミデネパグイソプロピル	STN1011700 / DE-117	緑内障・高眼圧症	UBEと共同開発	米国						2022年5月
				日本						2018年11月
				アジア						2021年2月
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2022年5月に販売承認を再申請。日本で、2018年11月に発売。アジアでは2021年2月の韓国以降、複数国で順次発売。										
sepetaprost	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本		(フェーズ2b)				
				欧州		(探索的試験)				
FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、フェーズ2b試験を完了。欧州で、2021年9月にフェーズ2試験（探索的試験）を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、 南洋理工大学	日本	(フェーズ2 / 3)					
				中国	(フェーズ2 / 3)					
				アジア						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月からフェーズ2 / 3試験を実施中。中国で、2022年6月にフェーズ2 / 3試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012701 / SYD-101	近視	Sydnexis社	欧州						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。導入元であるSydnexis社により欧州及び米国でフェーズ3試験が実施中。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有している。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
緑内障用デバイス	STN2000100 / DE-128	緑内障	自社	日本						2022年7月
				欧州						2019年4月
				アジア						2021年9月
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。日本で、2022年7月に上市（ソフトローンチ）。欧州で、2019年4月に発売。アジアでは、2020年3月以降順次販売承認を申請しており、2021年9月以降にシンガポールなどで承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Gatioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州及びアジアで、2022年3月にフェーズ3試験を終了。										

化合物名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
AFDX0250BS	STN1013400	近視	ベーリンガー インゲルハイム	日本						
小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM2受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2021年9月にフェーズ1試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ウルソ デオキシコール酸	STN1013600	老視	自社	日本						
水晶体の弾力性を向上させることで老視の症状を改善。日本で、2022年4月にフェーズ1試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
netarsudil mesylate	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Aerie社	日本						
				欧州						
				アジア					2022年3月	
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Aerie社が開発し販売中。日本で、2020年11月からフェーズ3試験を実施中。欧州で、販売承認取得済み。アジアで2022年3月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
netarsudil mesylate / ラタノプロスト	STN1014000 / PG-324	緑内障・高眼圧症	Aerie社	欧州						
				アジア					2022年5月	
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤及びプロスタグランジンF ₂ α誘導体の配合剤。米国では、Aerie社が開発し販売中。欧州で、販売承認取得済み。アジアで、2022年5月に販売承認を申請。										

■2021年度第4四半期決算発表時（2022年5月10日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1008903 / DE-089C	日本で、2022年6月に製造販売承認を取得。
STN1010904	2022年5月に、米国、フランス、インドでのフェーズ2a試験を開始。
STN1011700 / DE-117	米国で、2022年5月に販売承認を再申請。
STN1012700 / DE-127	中国で、2022年6月にフェーズ2 / 3試験を開始。
STN2000100 / DE-128	日本で、2022年7月に上市（ソフトローンチ）。
STN1014000 / PG-324	アジアで、2022年5月に販売承認を申請。

（3）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2022年3月期		2023年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	4,438	22,244	5,977	25,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2022年3月期		2023年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総 額	1,125	4,540	1,207	5,480
製 造 経 費	587	2,309	583	2,400
販 売 管 理 費	394	1,654	482	2,300
研 究 開 発 費	144	577	142	780

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2022年3月期		2023年3月期	
	第1四半期 累計実績*	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
総 額	2,421	9,734	2,554	10,300
メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費	1,452	5,740	1,452	5,740
E y e v a n c e 無 形 資 産 償 却 費	463	1,899	545	2,110
プ リ ザ ー フ ロ マ イ ク ロ シ ャ ン ト 無 形 資 産 償 却 費	233	955	274	1,060
I k e r v i s (ア イ ケ ル ビ ス) 無 形 資 産 償 却 費	187	741	195	760
そ の 他	86	398	88	630

* 2022年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合による取得対価の配分が完了し、2022年3月期第1四半期累計実績を遡及修正しています。

■研究開発費

（単位：百万円）

	2022年3月期		2023年3月期	
	第1四半期 累計実績	通期実績	第1四半期 累計実績	通期見込
研 究 開 発 費	6,121	26,377	7,099	27,000
対 売 上 収 益 比	9.4%	9.9%	10.8%	10.2%

（4）主要通貨為替レート

（単位：円）

通貨	2022年3月期 第1四半期	2022年3月期	2023年3月期 第1四半期	2023年3月期 (予想)
USドル	109.81	112.57	129.16	125.00
ユーロ	132.05	130.75	137.80	135.00
中国元	17.03	17.55	19.58	19.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。